



転造機導入に利用できるものづくり補助金について

お知らせ 2020.06.24

転造機導入に利用できる**ものづくり補助金**についてご案内いたします。







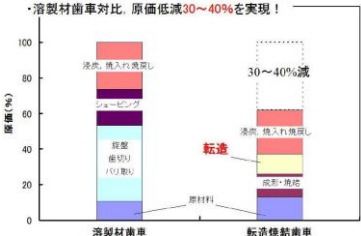






【通常枠】100万円～1,000万円（補助率：1/2～2/3）

【特別枠】100万円～1,000万円（補助率：2/3）

また2020年度より「**ものづくり補助金**」の条件が例年に比べ**大幅に変更**したため、従来に比べ、**申請通過が容易**となりました。

対象となる転造機種および**変更点**についてご紹介いたします。

対象機種について

FA-20/CNC		A22B	
			
製品実例		製品実例	
溶製ギア（仕上げ転造）	焼結ギア（仕上げ転造）	肉薄中空部品	ドレーンボルト（皿状扁平部品）
			
<p>※ボールねじ、中空スプライン、EPSウォーム等、他多数</p> <p>特徴</p> <p>【溶製ギア】素材→旋削→ブローチ→歯切り→面取りの次工程である「シェーピング」（噛合い時に低騒音化のために歯車の表面粗度を上げる工程）の代替として仕上げ転造を行います。</p> <p>【焼結ギア】従来、内部に空孔が生じてしまうことから自動車分野での使用は出来ず、限られた分野のみの使用でしたが、弊社の転造技術と組み合わせることで、コスト・強度・精度（密度向上）を実現することができました。焼結ギア仕上げ転造は大幅なコストダウンが可能です。</p>		<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ●転造加工では難易度が高いとされている「肉薄中空部品」、「皿状扁平部品」、異形の金属部品へのネジ転造が可能。 ●塑性加工によりネジ自体の強度も得られるため、精度と強度を要求される付加価値の高い部品加工が可能である。 ●右写真のように加工物の中心位置は、水平回転する3個のローラーダイスにより自動的に決められるため、ワークの芯出しが不要であり、均一精度のネジ加工が可能である。 ●A22B専用の自動供給装置を組み合わせることで、量産品の対応も可能である。 	
<p>・溶製材歯車対比、原価低減30～40%を実現！</p> 			
ND-30/CNC		ND-10/CNC	
			
製品実例		製品実例	
ボールねじ	微細ローレット	アマチュアシャフト	溝成形
			
<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全軸サーボモータ駆動（油圧レスで環境にやさしい） ●寄せ&通し転造仕様（通し転造にも最適、OPで主軸傾斜をNC制御） ●研削加工と比べボールねじの加工時間を大幅に縮小可能 研削加工120分：転造加工 3分 （外径：φ30mm、長さ：1,200mm） 		<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ●操作性、段取り性に優れた多品種の転造に最適。 ●油圧を用いておらず、低騒音、省スペース、メンテナンスに対する面にも優れています。 ●自動供給、複数箇所転造など豊富なオプションの対応可能 ●溝成形：中実品はもちろん、幅広い範囲の溝成形も可能。 	

「ものづくり補助金」に関する条件の変更内容について

変更点1：3年間は公募が継続、常時交付申請を受付

【今年度】 3年間は常時交付申請を受け付け、約3ヶ月毎に1回ずつ、採択発表を行う形式に変更したため、中長期の設備投資等を計画している企業によっては**試作や設備検討の時間的余裕がある。**

【従来】 1次公募では採択発表から機械設置、支払完了などをわずか6ヶ月程度、2次公募では3ヶ月程度で完了させる必要があり、**時間的にタイトである。**

変更点2：応募条件の追加（給与支給総額と最低賃金）

【今年度】 明確に以下の3点であると変更

- 要件①：付加価値額+3%以上/年
- 要件②：給与支給総額+1.5%/年
- 要件③：事業場内最低賃金 地域別最低賃金+30円

【昨年まで】 「3年～5年で付加価値額年率3%および経常利益率1%の向上を達成する計画」である。

※従業員の給与・賃金に重きがおかれた計画が応募要件になりましたが、要件②、③を満たすためには結局のところ経常利益率の向上と基本は変わりません。
(利益率を高め、労働分配率を増やす計画にすることが基本であるため)

変更点3：「中小企業革命推進事業」の意図に沿った加点・減点項目

【追加】 加点：被用者保険の任意適用（短時間労働者に社会保険を適用）に取り組んでいる。
減点：申請時点で、過去3年以内に同じ補助金を受給している。

【廃止】 加点：先端設備等導入計画の認定の取得
加点：クラウドファンディングによる資金調達

変更点4：小規模事業者は2/3の補助率

今年度：企業規模により補助率が変わり、中小企業ならば補助対象経費の1/2、小規模事業者ならば2/3の補助率が適用。

※小規模事業者の定義：製造業の場合は常時使用する従業員数が20人以下である。

従来：原則補助対象経費の1/2、先端設備等を導入すれば2/3の補助率が適用。